

1 サーバとの接続

- ◆ポート：5001 / 5002 / 5003 のいずれかを入力。
- ◆アカウント：弊社から送信しました情報を元に入力。
〔組織コード〕 / 〔ユーザー名〕
- ◆パスワード：弊社から送信しましたパスワードを入力。
- ◆マウントポイント：利用する補正データの種類を指定。
①「取込」ボタンを押す。
②リストから利用する補正データを選択。

3 初期座標の設定

仮想点座標の指定を行います。

受信機からの受信 (推奨)

接続した受信機から受信できる測位結果 (GGA/GGK) を仮想点座標として使用。

※受信機から測位結果を受信できない場合は、入力指定へ。

入力指定

受信機から測位結果を受信できない場合、任意の仮想基準点座標で測位を行う場合に利用。

◆「入力指定」を選択して「入力・選択」ボタンを押す。

※点 A ~ 点 D まで 4 点の座標を登録可能。

※座標を入力後、「更新」ボタンを押すと選択した点の座標値として記憶されます。

◆仮想点として使用する点を選択し、「閉じる」ボタンを押す。

4 再接続の設定

サーバとの接続が通信トラブル等で切断された場合に、自動的に再接続を試行する機能です。

- ◆機能を有効にするには、「再接続」にチェックマーク。手動で再接続する場合は、「接続」ボタンを押す。
- ◆最初の補正データ受信後に何秒間データを受信できなければ再接続処理をするか、時間を設定。(通常は 1 秒間隔で受信)
- ◆再接続作業を何回まで繰り返すかを設定。

5 補正データを保存

NtripCasterより受信した補正データをファイルに保存する機能です。

- ◆「補正データを保存」にチェックマーク。
- ◆右のファイル指定ボタンを押して補正データを保存する場所とそのファイル名を指定。
- ※同一名のファイルが存在した場合、指定したファイル名に“_n”(nは数字)を追加したファイル名で保存します。

2 受信機との接続

COM 接続の場合

「COM 接続」を選択して「詳細設定」ボタンを押す。

- ◆COMポート：受信機と接続するポートを選択。
- ◆ボーレート：リストから選択。
- ◆データ長：リストから選択。
- ◆パリティ：リストから選択。
- ◆ストップ：ストップビットをリストから選択。

※接続する受信機に設定している内容と同一にしてください。

- ◆2台目の受信機を接続するCOMポートを選択。→2台目の接続が無い場合は「無し」を選択。COMポート以外の設定は、1台目と同一です。

※指定したCOMに補正データを送信します。
※重機等で1システムにGNSSを2台利用する場合に2台目の指定をしてください。
※1台目の測位結果を仮想点座標に使用します。

LAN 接続の場合

「LAN 接続」を選択して「詳細設定」ボタンを押す。PCをServerとして設定。

- ◆待ち受けのIPアドレスをリストから選択。
- ◆待ち受けのポート番号を入力。
- ※設定したIPとポートから補正データが送信されます。
- ※外部から、PCに接続できるようにPCを設定してください。
- ※受信機はクライアントとしてネットワークで接続。
- ※複数台の受信機を接続した場合、最初に接続した受信機の測位結果を仮想点座標に使用します。

6 受信GGAを転送

受信機より受信した測位結果 (GGA/GGK) をGGAで転送する機能。GGAを利用するGNSSアプリケーションで使用します。

- ①「受信GGAを転送」にチェックマーク。
- ②「転送設定」を押す。

COM 転送

- ◆「COM 転送」にチェックマーク。
- ◆転送するポート、ボーレート等を設定。

LAN 転送

- ◆「LAN 転送」にチェックマーク。
- ◆Serverとして待ち受けのIPとポートを入力。
- ◆利用するアプリケーションでこのIPとポートを指定。

ファイル保存

- ◆「ファイル保存」にチェックマーク。
- ◆保存する場所とファイル名を指定。
- ※同一名のファイルが存在した場合、そのファイルに追加保存します。